



夏の風物詩—花火

園長 田中 裕

ここ数年猛暑が続き、夜になっても熱帯夜というのが普通になってきました。かつての日本の夏は日中、30度を超えても朝晩は涼しくなり過ごしやすかったものです。夏の風物詩としての花火や盆踊り、セミや鈴虫の鳴き声などは、あまりの暑さで涼しさや夏らしさを感じるものではなくなってしまいました。

それでも打ち上げ花火は毎年、日本の各地で行われ板橋でも大きな花火大会として有名です。そこで、今回は花火について調べてみました。

花火は中国に起源をもち通信手段の狼煙（のろし）として紀元前3世紀ごろに発明されたと言います。戦国時代の鉄砲とともに火薬が伝わり、本格的に花火が広まった、と言われていますが、室町時代にすでに花火があったという記録もあるようです。

その後、江戸時代に疫病や飢饉の犠牲者の慰霊、悪疫退散を祈って花火大会が始まりました。8代将軍、吉宗のころです。東京で最も有名な隅田川の花火大会はそのころから続いている夏の行事です。

打ち上げ花火で「たまやー」「かぎやー」と掛け声をかけますが、これは当時の有名な花火師の屋号だそうです。現在、日本各地で行われている花火大会ではたくさんの花火師さんがいろいろな色や形を工夫してつくりますが、もともとは白一色だったようです。色は花火玉の中の火薬の配置によって決まるため、花火作りで最も時間がかかり、また、形が球形であることで打ちあがって開くときにどの角度から見ても美しく見えるということです。外国の花火にはない、ものづくりの得意な日本人らしいところですね。

夜になっても暑いのは辟易しますが、今年も家族で花火を見て、日本の伝統的な芸術に思いをはせてください。

社会福祉法人藤花学園 北野保育園

8月の予定

8月4日(月)	身体測定	3~5歳児
6日(水)	誕生会	
	身体測定	本園1・2歳児
7日(木)	避難訓練	
	0歳児健診	
	身体測定	分園0・1・2歳児



夏まつりは大盛況でした！

先日の夏まつりでは大勢の方にご参加いただきありがとうございました。気温が30度を越えなかったのも、園庭でも過ごしやすく楽しめましたのではないのでしょうか。

カレーを提供したのは初めてでしたが、大変好評でした。混んでいて残念ながら食べられなかった方もいたようでしたので、来年度は皆さんに食べていただけるように工夫したいと思います。

レシピを教えてほしいという声をたくさんいただきましたので、Instagramに公開する予定です。

ぜひご覧になって作ってみてください。

(いいね！♡ 押してくださいね。)

